

プレスリリース

## 印象派

## モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵

## Frontiers of Impressionism: Paintings from the Worcester Art Museum

東京富士美術館では、2024年7月6日(土)より9月29日(日)まで、「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」を開催します。

第1回印象派展から150周年を迎える2024年、印象派がヨーロッパやアメリカへもたらした衝撃と影響をたどる展覧会を開催します。

パリには国外からも多くの画家が集いました。パリでは印象派に触れ、学んだ画家たちは、新しい絵画の表現方法を自国へ持ち帰ります。本展では、西洋美術の伝統を覆した印象派の革新性とその広がり、とりわけアメリカ各地で展開した印象派の諸相に注目します。

アメリカ・ボストン近郊に位置するウスター美術館は、1898年の開館当初から印象派の作品を積極的に収集してきました。

この度、ほとんどが初来日となる同館の印象派コレクションを中心に、日本でもよく知られるモネ、ルノワールなどフランスの印象派にくわえ、ドイツや北欧の作家、国際的に活躍したサージェント、さらにはアメリカの印象派を代表するハッサムらの作品が一堂に会します。

これまで日本で紹介される機会の少なかった、知られざるアメリカ印象派の魅力に触れていただく貴重な機会となります。



◆開催概要

展覧会名： 印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵  
Frontiers of Impressionism: Paintings from the Worcester Art Museum

会 場： 東京富士美術館 本館 企画展示室  
〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1  
TEL.042-691-4511

会 期： 2024(令和6)年7月6日(土)～9月29日(日)

休館日： 毎週月曜日、7月16日(火)、8月13日(火)、  
9月17日(火)、9月24日(火)  
(7月15日、8月12日、9月16日、9月23日は開館)

開館時間： 10:00～17:00(16:30 受付終了)

入場料金： 大人 1,500(1,200)円、大高生 900(800)円、  
中小生 500(400)円、未就学児無料  
※新館常設展示室もご覧になれます  
※( )内は各種割引料金 [20名以上の団体、65歳以上  
の方、当館公式 SNS 登録者ほか]  
※土曜日は中小生無料  
※障がい児者、付添者 1名は通常料金の半額 [証明書を  
ご提示ください]

主 催： 東京富士美術館、日本テレビ放送網

後 援： アメリカ大使館、八王子市、八王子市教育委員会

協 賛： 光村印刷 協 力： NX 日本通運

問い合わせ先：「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館」広報事務局／(株)ウインドム内  
担当：白井、沼澤、多田 TEL.03-5642-3767 FAX.03-3664-3833  
E-mail: worcester2024@windam.co.jp  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-14-11 鴨下ビル 2 階

◆展示構成

第一章 伝統への挑戦 Challenging Tradition

第一章では、リアリズムとロマン主義が交錯する時代に、真実の姿に迫りつつもときに理想化されて描かれた風景画の台頭を、ヨーロッパとアメリカの主要な画家たちの作品によって紹介します。

風景画は自分の住む地域への誇りを表現するジャンルになると同時に、前世紀までのアカデミックなヒエラルキーを再編し、19世紀後半から20世紀初頭にかけての前衛的な美術運動の先駆けとなりました。

主な出品作品：



広報用貸出画像①



広報用貸出画像②

- ① ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー 《ヴィル＝ダヴレーの牧歌的な場所―池畔の釣り人》1865-70年 油彩、カンヴァス 56 × 71.6cm ウスター美術館
- ② トマス・コール 《アルノ川の眺望、フィレンツェ近郊》1837年 油彩、カンヴァス 84.5 × 135.3cm ウスター美術館



広報用画像③

- ③ ウィンスロー・ホーマー 《冬の海岸》1892年 油彩、カンヴァス 72.4 × 122.6cm ウスター美術館

## 第二章 パリと印象派の画家たち Paris and the Impressionists

印象派につらなる画家たちには、パリ中心部に住む者もいれば、都会から少し離れた、自然に触れることのできる田舎町を好む者もいました。

モネは当初アルジャントウイユ、のちにジヴェルニーに住み、シスレーはフォンテーヌブローの森近くのモレ=シュル=ロワンに住みました。鉄道網の拡大により、こうした郊外に住みながら、すぐにパリに行けるようになりました。

パリには美術館、ギャラリー、アトリエ、カフェ、美術学校などがあり、展覧会も開かれ、志を同じくする芸術家たちが集まり、そしてまたヨーロッパ各国やアメリカからもこの時代の新しい芸術を探究する者たちが集ってきました。

主な出品作品：



広報用画像④



広報用画像⑤

- ④ カミーユ・ピサロ《ディエップの船渠デュケーヌとベリニー、曇り》 1883年 油彩、カンヴァス 54.3 × 65.5cm ウスター美術館
- ⑤ メアリー・カサット《裸の赤ん坊を抱くレーヌ・ルフェーヴル(母と子)》1902-03年 油彩、カンヴァス 68.1 × 57.3cm ウスター美術館



広報用画像⑥



広報用画像⑦

- ⑥ ベルト・モリゾ 《テラスにて》 1874年 油彩、カンヴァス 45 × 54cm  
東京富士美術館
- ⑦ チャイルド・ハッサム 《花摘み、フランス式庭園にて》 1888年 油彩、カンヴァス 71.1 × 55.1cm  
ウスター美術館



広報用画像⑧

- ⑧ クロード・モネ 《睡蓮》 1908年 油彩、カンヴァス 94.8 × 89.9cm  
ウスター美術館

### 第三章 国際的な広がり Impressionist Networks

パリは20世紀においても芸術の中心地であり続け、留学した画家たちは新しい絵画の技法を取り入れて帰国していきました。彼らは印象派のスタイルを自らの芸術に取り込み、より粗い筆触や明るい色彩、現代的な主題を取り入れて新たな芸術の中心地を形成し始めました。この過程で、印象派の主題の幅が広がり、ネットワークを通じて印象派の影響は、世界に広がっていきました。

主な出品作品：



広報用画像⑨



広報用画像⑩

- ⑨ アンデシュ・レオナード・ソーン 《オパール》 1891年 油彩、カンヴァス 100.3 × 69.5cm ウスター美術館
- ⑩ ジョン・シンガー・サージェント 《キャサリン・チェイス・プラット》 1890年 油彩、カンヴァス 101.9 × 76.7cm ウスター美術館



広報用画像①

① 黒田清輝《草つむ女》 1892年 油彩、カンヴァス 63.5×81cm 東京富士美術館

#### 第四章 アメリカの印象派 American Impressionism

1880年代半ばに、アメリカの画商や収集家の間でヨーロッパの印象派が人気となり、多くのアメリカ人画家がヨーロッパで学び、明るい色彩を取り入れるようになりました。

19世紀末から20世紀初頭にかけて、アメリカの画家たちは独自の印象派の解釈をし、その影響がアメリカ全土に広がっていきました。ウィリアム・メリット・チェイスやチャイルド・ハッサムは印象派を広めるために活動し、アメリカの画家たちはフランスの印象派に忠実な者もいれば、アメリカらしいテーマを取り入れたり、独自の技法を加えたりして、個々の表現方法を生み出していきました。

主な出品作品：

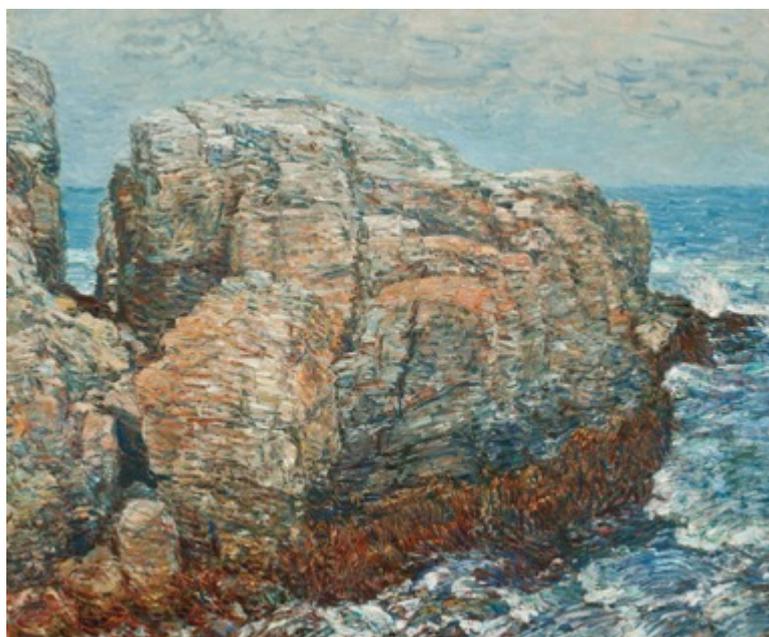


広報用画像⑫



広報用画像⑬

- ⑫ ジョゼフ・H・グリーンウッド 《リンゴ園》 1903 年 油彩、カンヴァス  
50.8 × 76.2cm ウスター美術館
- ⑬ チャイルド・ハッサム 《コロンバス大通り、雨の日》 1885 年 油彩、カンヴァス  
43.5 × 53.7cm ウスター美術館



広報用画像⑭

- ⑭ チャイルド・ハッサム 《シルフズ・ロック、アップルドア島》 1907 年 油彩、カンヴァス  
63.5 × 76.2cm ウスター美術館

## 第五章 まだ見ぬ景色を求めて New Directions and Frontier Lands

印象派の後、ポスト印象派画家たちは、より抽象的で内面的な表現に焦点を当て始めました。特に、ドイツの画家たちは、印象派のスタイルを取り入れつつ、表現主義の初期芸術家たちと協力し、感情や心理を作品に表現し始めました。また、アメリカでは、印象派から影響を受けた画家たちが、トナーリズムと呼ばれる新しいスタイルを模索し、情感豊かな風景を描くことで人々に精神的な安らぎを提供しました。印象派の画家たちは、さまざまな風景を捉え、技法と主題の両面で探究精神を持ち、持ち運び可能な画材や戸外制作によってどんな困難な環境にも適応できることを示しました。

主な出品作品：



広報用画像⑮



広報用画像⑯

- ⑮ ポール・セザンヌ 《「カード遊びをする人々」のための習作》1890-92年 油彩、カンヴァス 32.1 × 35.2cm ウスター美術館
- ⑯ ポール・シニャック 《ゴルフ・ジュアン》1896年 油彩、カンヴァス 65.4 × 81.3cm ウスター美術館



広報用画像⑰



広報用画像⑱

- ⑰ フランク・ウェストン・ベンソン《ナタリー》1917年 油彩、カンヴァス  
76.2 × 63.5cm ウスター美術館
- ⑱ デウィット・パーシャル《ハーミット・クリーク・キャニオン》1910-16年 油彩、  
カンヴァス 114.3 × 127cm ウスター美術館

◆その他

※関連イベントの詳細につきましては今後ホームページ

[www.fujibi.or.jp](http://www.fujibi.or.jp)にてお知らせします

## ウスター美術館について

アメリカ・マサチューセッツ州第2の都市ウスターにある美術館。1896年に設立され、1898年に開館しました。古代エジプト、古代ギリシャ・ローマの美術から、ヨーロッパやアメリカの絵画・彫刻、世界各地の現代美術まで、およそ40,000点のコレクションを所蔵しています。2013年には約2,000点の武具武器からなるジョン・ウッドマン・ヒギンズ・コレクションが加わりました。幅広いコレクションを活かした展覧会やさまざまな教育プログラムを実施し、多様な来館者にアートに触れる機会を提供しつづけています。



ウスター美術館外観 Photo courtesy of the Worcester Art Museum

This exhibition was organized by the Worcester Art Museum

## 東京富士美術館について

当館は 1983 年 11 月、東京・八王子市に設立された総合的な美術館です。コレクションは日本・東洋西洋の各国、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武具・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約 30,000 点で形成されています。

「世界を語る美術館」を“永遠の指針”としてこれまで各国地域の優れた文化を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を国内外で活発に開催し、1990 年には日本の外務省より「外務大臣表彰」を受彰。2008 年には新館がオープンし、常設展示室ではルネサンスからバロック・ロココ・新古典主義・ロマン主義を経て、印象派・現代にまで至る西洋絵画 500 年の油彩画コレクションが一望できるようになりました。



この件に関するお問い合わせ先

「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館」広報事務局／(株)ウインダム内  
担当：白井、沼澤、多田 TEL.03-5642-3767 FAX.03-3664-3833

E-mail: worcester2024@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-14-11 鴨下ビル 2 階